

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新役職者紹介

事務次長
座安 樹

2022年7月1日付で、沖縄協同病院の事務次長に就任しました座安樹と申します。

沖縄協同病院では、用度課・総務課を経てこれからは事務管理部として病院経営に携わる事となります。

今後、沖縄協同病院の新東棟建設計画や経営課題も多く責任の重さをすでに痛感しています。

沖縄協同病院が地域の皆様から安心して利用いただける病院であるためにこれまで培ってきた経験と貢献できればと思います。組合員・地域の皆様職員の皆様今後ともどうぞよろしくお願い致します。

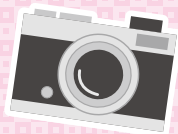
事務長
新垣 哲治

医療生活協の組合員、病院利用者の皆さま、初めまして7月1日付けで事務長に就任しました新垣哲治と申します。事務長就任という重責を託されたことに、身の引き締まる思いがしております。どうぞよろしくお願い致します。当院は2009年6月より現在的那覇市古波蔵に急性期病院として新築移転して13年目を迎えます。昨今では新型コロナウイルス感染症の対応など急性期医療を担う総合病院として医療活動を行ってまいりました。今年は沖縄医療生活協同組合設立50周年という大きな節目になります。当院は「いのちと健康、くらしと平和を守るために」「いつでも、どこでも、だれでも良い医療が受けられるように」との県民の願いを出発点に、組合員でお金を出し合ってきた病院です。1972年、戦後の劣悪な医療状況の中での設立から50年が経ち時代は超高齢化社会に突入しました。今後も医療・介護のニーズはさらに急速に増加していきます。設立時の理念を元に組合員の皆さま、地域利用者の皆さまの期待に応えられる医療活動を全力で展開してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



今月の1枚

「短冊に願いを」
6階病棟
看護学生と患者さんの願い

病院の活動状況
＜2022年6月度＞

- 外来一日平均患者数
350人（前年同月比 +62人）
- 入院一日平均患者数
255人（前年同月比 -7人）
- 組合員利用分量(率)
56.4%（前年同月比 +7.3%）

かかりつけ医について思うこと

186

呼吸器外科より



当の永田と申します。組合員の皆様はこの2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症流行の中、体調管理に非常に苦労をされておられると思います。その中でも医療生活協活動へのご理解、サポートをいただき感謝しております。今回は沖縄協同病院の急性期病院への重点化の中で、かかりつけ医機能との関連で個人的に思うこととお願いについてお話ししたいと思います。

私の外来で、「最近血圧が高い、膝の調子が悪い、夜あまり眠れない、内科や整形外科、心療内科の予約はまだ先だね」と通院のきっかけになった疾患以外の気になることを話される患者様を少なからず経験します。私はとりあえずのつなぎになる薬を処方しながら、申し訳ないけど担当する科を受診してくださいとお願いしています。

昔は医師不足の影響もあり、良くも悪くも一人の医師が患者様の疾患、訴えを幅広く聞き入れて対応した時代でした。現在、医師人口は増え、かかりつけ医の導入を訴え続けていますが、「まずこの医師、この病院に相談すればいいね」という存在は増えていないと考えます。その原因の一つは各診療領域の専門化、高度化です。医療の発展において、逆に各科診療で考え、やらねばいけない事が格段に増えていきます。1つの診療科でも判断することが多くなっております。さらに患者様のあらゆる訴えを聞き、訴えに隠れる疾患を見抜くという事は、すでに一人の医師では不可能となっております。「専門の先生に相談してね」というのはある意味当然の流れだと思えます。

かかりつけ医というのは、高血圧、糖尿病、高脂血症など内科疾患、整形外科疾患後、脳血管障害後、心療内科疾患など長期に（おそらく一生）管理、内服を要する疾患に対応し、かつ切迫する症状がない状況下で診る医師、そこで定期的検診を行い症状が出る前の疾患を見つける医師であると思えます。このような患者様の管理、内服は、今後ひょっとしたら医師ではなく検査結果でAI（人工知能）簡単に言うところのコンピュータが指導する時代になるかもしれません。また、急性期病院とは現時点で患者さんが切迫した症状を有し、それが早期の診療、入院管理を要するかを判断し、対応する病院と考えます。沖縄協同病院は現在上記の役割が混在しており、今後その役割を分けていくことが求められています。

組合員の皆様は、複数の慢性疾患を抱えつつ、気になる症状が出たり消えたりと不安になることが多々あると思います。かかりつけの医師に相談しても待ち時間や日数も長くなるかもしれません。他院を紹介されることもあるかもしれません。しかし現状では、辛抱強くそれぞれの科を受診し、問題を一つ一つ解決していくことが最善の対応策と考えます。我々も現在未来の医療の状況、あり方を考えながら、患者様の不安を少なくする診療に努めてまいります。どうぞご理解いただけると幸いです。

呼吸器外科部長 永田 仁

集中治療室から

コンニチワ

「エクモって何？」

ICU・HCU 医長
佐久田 豊

ECMO(エクモ)という言葉はもうニュースで何度かお聞きになられていると思います。

extracorporeal membrane oxygenationの頭文字を取っています。日本語では「体外式膜型人工肺」と表記され、extracorporeal(体外の)membrane(膜で)oxygenation(酸素化)＝「体の外の人口膜で酸素化するよ」というような意味です。

当院ではコロナ患者さんへのECMO治療は行っていないですが、その他の病気でV-A(Vein 静脈-Artery 動脈)ECMOやV-V(Vein 静脈-Vein 静脈)ECMO治療を行ったりします。頻度としては大腿静脈から血液を抜いて腹部動脈側に血液を返すV-A ECMOを行うほうが多いです。V-A ECMOは心臓の動きが極端に悪くなった時に使用する様式です。V-V ECMOは心臓には問題が無く、肺での酸素化などが悪い際に使用します。主にコロナの患者さんでこれまで使用する頻度が多かったのはV-V ECMOです。これに対し心筋梗塞で使用するが多いのはV-A ECMOで

す。インフルエンザウイルス心筋炎とか細菌敗血症性心不全などでも血圧が極端に低くなった時に使用することがあります。使用できる方は通常元気にご飯を食べ歩いていた方です。日常生活を普通に行っていたが急に心臓の状態が悪くなったために、このV-A ECMOを行います。V-A ECMOの血液の流れは通常心臓拍出方向と逆なので後負荷(心臓にとっては負担になる状態)というものが増加します。このため心臓の頑張りを妨げる流れである補助であり、遅くとも4日～7日でECMOを終了することを考えます。この間に心臓の治療がうまくいくといいなといつも考えています。

ECMO中は管の刺入部から血が出たり、赤血球が破砕されて貧血が進行するため輸血も必要になります。おおよそHB(ヘモグロビン)10g/dlあたりを目標にして輸血を繰り返しています。ECMO中は人工呼吸器につながれているため痛み止めの注射や眠り薬を使用することが多いためコミュニケーション(意思疎通)が取りにくい状態ですが、気持ちが落ち着いていてご協力が得られるなら、新聞を読んでもいいたり、TVをみてもいいたり、リハビリテーションを受けていただくこともあります。



部署紹介

⑥ リハビリ室

リハビリ室は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、事務の専門職が集まった部署です。最近ではリハビリも専門が細分化され、「〇〇リハビリテーション」という名称を聞くことも多いと思います。リハビリの分野は色々ありますが、目的は退院後も「その人らしく生活できること」を目指しています。入院早期から多職種でチームを作り、関節拘縮や筋力低下の予防、安全な飲み込みの獲得の手助けなどを行うことで、患者様が退院後、生活がしやすくなるよう取り組んでいます。これからも多職種で協力しながらより良い医療が提供できるように部署一丸となって取り組みます。これからも宜しくお願いします。

リハビリ室長代行 理学療法士 松原勝也

20年ものの古酒(くーす)
いつまで熟成させようか

「日本のうたごえ祭典」で
チャリティー販売・ラベル採用された
壺屋、新垣家。

画・内科医 上原 和博

ハルサー
だより ⑤

カシウジ

カシウジとはお盆にグサンウジとして使うサトウキビで、普通のサトウキビより太くて甘い。グサンウジとはグソウの人の杖。でお盆に供え物の両脇に立てかける。カシウジがない時は普通のキビで代用する。余談だが、小さい頃、お盆になると母にソーローメーシ(メドハギ・グソウの人のお箸)を取りにいかされた。以前はどこにでも生えていたが今は見たことがない。

カシウジはなかなか手に入らないので去年親戚が持ってきたものを植えてみた。昔はサトウキビ農家だったので懐かしい。五〇歳を過ぎてから子供の時のようにキビをかじったら歯が欠けてしまったので、それからには鎌で皮をむいてサイコロ状に切ってから食べている。

最近「ウーシ染め」「ウーシの森」等、伸ばし棒が入っているが、私の地域ではカシウジとかグサンウジとは言わない。地域によるものか？因みにニガウリはゴーヤではなくゴーヤーと伸ばす。

さて、七月八日の安倍元首相の銃撃事件には日本国中はもちろん関係国中が衝撃を受けた。この銃撃で表面化したのは「政治家と宗教の持ちつ持たれつの関係。背景を徹底解明しなければ今後同じことが起こる可能性大である。

今の世の中、「人生百年時代」と言われるが、一寸先は闇。今までに経験したことのない世界的な熱波・洪水等の異常気象、沖縄だけでも毎日五千人以上が感染している新型コロナウイルス、物価高騰さらには大國間対立の巻き添えになる不安。

そんな世の中を百歳までサバイバルしていくのは至難の業だ。サトウキビの花言葉は「平和」だが、私はいつまでもサトウキビを育てられるだろうか。

ハルサー 金城 稲子

